

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

- ・ 地域密着型特別養護老人ホーム あその杜
- ・ ショートステイあその杜
- ・ 短期入所生活介護 あその杜
- ・ 地域密着型通所介護 あその杜

目 次

I	はじめに	・・・・・・・・・・	1
II	全体事業報告		
	1 施設整備状況	・・・・・・・・・・	1
	2 職員状況	・・・・・・・・・・	1
	3 研修等	・・・・・・・・・・	1～2
	4 各委員会開催状況	・・・・・・・・・・	2
III	事業所別事業報告		
	1 特別養護老人ホームあその杜	・・・・・・・・・・	2～3
IV	専門部門		
	2 医務部	・・・・・・・・・・	3
	3 栄養部	・・・・・・・・・・	4
V	ショートステイあその杜（空床型）	・・・・・・・・・・	4
VI	短期入所生活介護あその杜（併設型）	・・・・・・・・・・	4
VII	デイサービスセンターあその杜	・・・・・・・・・・	5
VIII	防火・防災訓練報告	・・・・・・・・・・	5
IX	課題・次年度の提起	・・・・・・・・・・	5

I. はじめに

人材確保が厳しい現状では、現任の質を上げることが利用者の安全・安心な暮らしの提供に繋がると考え、今年度は、認知症高齢者対策及び介護事故発生の抑制に対する問題解決に方策として、職員への面談・意向調査・目標設定を行うなど意識向上に努めた。

次年度も一人ひとりが目標達成に向け意欲的に取り組む職場環境を構築したい。

II 全体状況報告

特定外国人の採用や介護職員等の資質向上に向けて取り組んだ結果、特養は満床となり、入所の待機者を確保することで空床をなるべく減らすことができた。また、併設のショートステイ（短期入所生活介護）を令和5年8月に開設したことで、家族の介護負担軽減を支援しながら在宅生活を継続できる環境が整い、定期的な泊まりのサービス提供が可能となった。そのため、デイサービスを利用する介護度の高い高齢者等が、必要に応じて泊りのサービスを利用しながら在宅生活を送ることができた。

1 施設整備状況

- ・赤外線センサー及び通信機器（電話・インターホン・ナースコール等）の取り換え
- ・非常災害用ガス発電機の設置 ・排煙窓修理 ・防火シャッター修理
- ・非常用照明機器取り換え工事 ・自動水洗取り換え工事

2 職員状況（R6.3.31現在）

① 職員内訳：人員 39 名：（正職・嘱託 30 名 パート 5 名 特定技能外国人 4 名）

② 職務配置

介護支援専門員 1 名	特養生活相談員 1 名	ユニットリーダー 4 名
特養看護職員 2 名	特養介護職員 10 名	特定技能実習生 4 名
機能訓練指導員 1 名（パート）	デイ介護職員 4 名	デイ看護職員 3 名（パート）
調理員 6 名（内パート 2 名）	デイ生活相談員 1 名	管理栄養士 1 名
宿直専門員 1 名		

③ 資格取得状況（令和5年度取得分）

介護福祉士合格者 3 名

3 研修等

① 施設内研修

月	研修内容	月	研修内容
5	ユニットケアについて 事故防止・ヒヤリハットについて	11	福祉用具活用について
6	非常災害時の対応及び防災訓練について	12	感染予防（シュミレーション）
7	感染予防について（シュミレーション含）	1	ハラスメント防止について
8	接遇・コミュニケーション技術について	2	身体拘束・人権擁護について
9	身体拘束・高齢者虐待について	3	事故防止・ヒヤリハットについて
10	認知症ケアについて		

② 新人研修：介護職員 1 名、看護職員 1 名

③ 外部研修：認知症実践者研修 1 名、介護職員実務者研修 5 名、栄養士研修 1 名、
介護支援専門員阿蘇支部研修 1 名

④ WEB 研修：認知症基礎研修 7 名（特定外国人 4 名含）、BCP 応用セミナー 1 名

- ⑤ 施設長研修：認知症ケア専門員 WEB 研修、社会福祉法人労務研修、BCR 作成 WEB セミナー、介護支援専門員阿蘇支部研修

4 各種委員会開催

委員会名	開催日	委員会名	開催日
看取り委員会	9/1 8/28 11/27 2/21	給食委員会	5/22 11/21 2/22
事故防止委員会	5/29 8/27 12/25 3/16 3/29	防災委員会	4/11 7/2 10/20
排泄委員会	6/9 10/8 2/24	褥瘡予防委員会	4/5 7/26 10/10 1/17
虐待・身体拘束廃止委員会	6/23 9/29 12/25 3/22	感染対策委員会	4/18 7/11 10/25 1/29

Ⅲ 事業所別事業報告

1. 特別養護老人ホームあその杜（定員 29 名）

(ア) ユニットケアの充実

- ・西五岳：利用者の心身の状態把握と個々の活動・生活支援に努めた。
- ・東外輪：認知症の症状の変動や身体状況の対応と精神的対応に努めた。
- ・東五岳：残存機能を活かしたレクリエーションを実施し、生活支援に活かした。

(イ) 事故防止及び身体拘束廃止

ユニット会議等や研修及び委員会において事例に基づき、改善方法を検討した。何度も介護事故を起こす職員は固定されており課題が残った。身体拘束においては、廃止に向けてその都度徹底した。

(ウ) 看取り介護

看取り委員会で介護の役割を理解した上で入所者 2 名について実施した。

(エ) 地域貢献としての役割の推進

阿蘇清峰高校より花苗を購入し、家族会と共に施設周りの美化活動（草取り・花植え）を実施した。また、家族に向けて認知症や感染防止についての勉強会を実施した。地域運営推進会議や家族会では、市町村及び地域の方・ご家族の意見等をいただくことが出来た。特養入所中の 1 名に対して社会福祉法人等による利用者負担軽減を行った。

地域運営推進会議

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
日程	5/25	7/27	9/28	11/16	1/25	3/28

(オ) 入・退所者状況

(R6. 3. 31 現在)

月	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	計
入所		3			1	2		1	2	2		1	12
退所		1		1		1	1	2	1			1	8
合計	25	27	26	26	27	28	27	26	27	29	29	29	29

入所判定会議

実施日	5/12	7/13	9/8	11/14	11/29	1/18	2/8	3/17	計
(対象人数)	1	1	2	2	3	3	1	3	18

(カ) 行事実施報告

月	行事内容
4	つつじ見学（長寿が丘：東五岳、仙酔峡：東外輪）、誕生会（西五岳）
5	バラ園観覧（はな阿蘇美：西五岳）、誕生会・おやつ作り（東外輪）
6	花の種植（東外輪）、誕生会・おやつ作り（東外輪、西五岳）
7	そうめん流し（東外輪・東五岳、西五岳）
8	夏祭り（東外輪、東五岳、西五岳合同）
9	敬老会（東外輪、東五岳、西五岳合同）
10	レクリエーション大会（東外輪）運動会（東五岳）
11	紅葉見学（長寿が丘：東外輪、草千里：東五岳、阿蘇坊の里：西五岳）、誕生会（東外輪）
12	クリスマス会（東外輪、東五岳合同、西五岳単独）
1	施設内神社初詣（東外輪、東五岳、西五岳）、誕生会（東外輪）
2	節分豆まき（東外輪、東五岳、西五岳）
3	誕生会（東外輪）

IV 専門部署事業報告

1 医務部

(ア) 感染予防対策の徹底

- ・週1回のコロナウイルス感染症抗原検査の実施と報告（R6.3まで）
- ・感染状況によりユニット間の往来の制限や勤務調整の実施及び面会場所を検討し予防に努めた。

(イ) 健康診断と健康管理

- ・入所者の定期診察及び健康相談は、毎月2回、血液検査等は10月と3月に実施
- ・胸部X-P検査10月実施
- ・職員健康診査及び腰痛予防検診は10月、夜勤対象者対象に2回目を3月実施
- ・入院は延べ12名（心機能精密検査1名、発熱3名、大腿部転子骨折1名、下肢浮腫増強1名、呼吸苦1名、意識混濁1名、精査目的1名、心不全増悪1名、肺炎疑い1名、極度の貧血1名、）
- ・外来受診状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
坂梨ハートクリニック	3	8	7	1	3	3	3	3	2	4		5	42
阿蘇医療センター			6	1	8					1	1		17
セントラル病院									1				1
やまなみ病院							1	1		2		1	5
大阿蘇病院					1								1
岩上眼科					1		2						3
弓削病院												1	1
計	3	8	13	2	13	3	6	4	3	7	1	7	70

(ウ) 異常の早期発見と重症化防止

- ・看護より嘱託医へ速やかに医師へ連絡・相談し、必要に応じ受診、入院等にて治療を行った。入院時に状態の悪化により6名の方が亡くなられた。

(エ) 看取り介護の状況

- ・老衰のため施設で2名の看取りを行った。終末期も、ご家族との時間を過ごしていただき、穏やかに別れができた。亡くなられた後のご家族へのケアも実施できた。

2 給食・栄養部

(ア) 栄養管理

嗜好調査を基に栄養管理を実施した。食事量が少ない方や体重減少が目立つ方には高カロリー食の提供を行う等補助食品を有効に活用した。

(イ) 衛生管理

温度管理と清掃等の徹底及び厨房職員の検便検査も規定通り実施した。

(ウ) 食事形態

入所判定会議に参加し、入所者の状態を把握した上で食事を提供した。

v. ショートステイ あその杜 (空床型)

特養の空室を活用し受け入れを調整していたが、徐々に特養が満床となり、8月に併設のショートを開設した後は、空床の利用はほとんどなかった。

施設利用状況等 R5年度 利用者の内訳

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護1	4	3	1	1		1							10
介護2	8	5	5	3									21
介護3	2	1	2	2									7
介護4		1		1	1	1							4
介護5													0
合計	14	10	8	7	1	2	0	0	0	0	0	0	42
延べ数	111	79	42	53	30	17	0	0	0	0	0	0	323

VI. 短期入所生活介護 あその杜 (併設型)

令和5年8月1日に開設した。居宅支援事業所より問い合わせも多く、定期的な利用の他、困難事例の方など単発的な依頼も出来るだけ受け入れた。

(ア) 事業の取り組み

- ・介護者の都合やレスパイトケアのための利用受け入れ
- ・手術等の入院前日程調整の利用受け入れ
- ・認知症の症状による専門医受診前の利用受け入れ
- ・特別養護老人ホーム入所待機の間所としての利用受け入れ

施設利用状況等 R5年度利用者の内訳 (R5.8開設) 平均稼働率 44.8%

月	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援2				1	1				2
介護1	1	1	1	7	8			1	18
介護2	5	5	5	6	5	8	5	7	46
介護3	5	6	5	1	1	4	4	4	30
介護4	2	2	1			1	1	1	8
介護5								1	1
合計	13	14	12	15	15	13	10	14	106
延べ数	73	81	73	101	146	142	122	135	873
稼働率	26.2	30	26.2	37.4	52.9	50.9	46.7	48.4	39.8

VII. デイサービスセンターあその杜（定員 18 名）

（ア） 事業の取り組み

利用者が日常生活に困らない様自宅での動線を確認し、その人に合った機能訓練や運動を行った。また、レクリエーションで思いっきり笑ったり、趣味活動等の時間を楽しく過ごされた。また、一人ひとりの悩みや困りごと等にもしっかりと向き合い話を聞く時間を作る等精神的支援を行った。

（イ） デイサービス利用状況等

① デイサービス平均利用人数（1日あたり）平均利用人数 13.7 名 平均稼働率 76.2%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数
延べ人数	335	378	401	351	363	366	355	343	339	325	353	369	4,278
稼働率	71.6	80.8	85.7	75.0	74.7	75.3	75.9	73.3	69.8	75.3	78.4	78.8	76.2

コロナ感染症は5類に分類されたが、地域での感染は持続しており、ご本人の感染だけでなく、ご家族の感染等により連続してデイサービスを休まれる方が数名あった。また、認知症の増悪や機能の低下等により入所された方もあったため、稼働率は80%を切った。

② ・平均介護度：2.26 ・利用者平均年齢：86.4

（ウ） 行事報告

月	行事内容	壁画	月	行事内容	壁画
4	花見ドライブ、誕生会	菖蒲の花	10	誕生会	紅葉
5	家庭菜園、誕生会	紫陽花、トトロ	11	紅葉ドライブ 誕生会、おやつ作り	クリスマス飾り
6	誕生会、七夕飾り	花火	12	クリスマス会 ゆず湯、餅つき大会	富士山
7	そうめん流し	向日葵、朝顔ドレス	1	初詣、誕生会	花のハート
8	誕生会、夏祭り	コスモス、かやぶき家	2	チューリップ球根植 豆まき、誕生会	雛段飾り
9	敬老会	フクロウ（個別作成）	3	誕生会	しだれ桜

VIII 防火・防災訓練報告

6月28日	火災避難訓練	2月23日	夜間想定火災避難訓練
-------	--------	-------	------------

- ・2月は避難訓練の他、タンカの使用方法等消防署員の指導を受ける事が出来た。継続した感染予防を実施していたため、近隣者や地区消防団の参加はなかった。風・水害・地震災害については、施設内感染症の発生により全体的訓練は実施できなかったため、委員会で簡易的に実施した。
- ・備蓄品は、消費期限切れ間近の物は食事の材料として使用し入れ替えを行った。また、利用者や職員数に合わせ備蓄品を追加購入した。その他、行政よりマスクや防護服などの配布もあり備蓄とした。

IX 課題・次年度の提起

特養が満床になり、今後は入所者がその人らしく元気に施設生活を継続でき、職員共に生きがいを持てる施設作りと安定した運営に向けた取り組みが必要である。また、デイサービスも90%以上の稼働率を目指したい。来年度は、介護報酬の改定が予定されており、各事業所の体制を確認するとともに加算体制を整えていきたいと考える。